

進路

2008年度卒業生の主な進路先

種別	進路先
公務員	国土交通省 経済産業省 東京都 埼玉県 石川県 山形県 さいたま市 千葉市 など
インフラ系	JR 東日本 東京メトロ JR 貨物 相模鉄道 静岡ガス 日比谷アメニス など
建設	鹿島建設 清水建設 大成建設 前田建設工業 戸田建設 フジタ 五洋建設 など
情報	KDDI 日立ソフトエンジニアリング 日立システム&サービス など
技術系	東海理化 三井ホーム 東急リパブル など
コンサルタント	いであ オリエンタルコンサルタンツ 社会システム 環境管理センター など
その他	ユアサ商事 日本通運 日立物流 など
大学院進学等	芝浦工大 千葉大 筑波大 など

芝浦工業大学工学部土木工学科

Department of Civil Engineering
SHIBAURA INSTITUTE OF TECHNOLOGY



教育目標

土木工学は、人間生活の基盤となるあらゆる公共施設に関わる市民工学です。社会生活を成立させるための施設の建設および、その維持管理、さらに、建設後における自然および社会への影響等を考慮する幅広い知識が必要となります。このように土木工学の対象は、構造物・自然・社会からなる総合システムであり、土木技術者は、この総合システムを大局的に捉える能力、そして集団の中での自己の役割と責任の自覚を要求されます。このような考えから本学科では『社会科学をとり込んだ社会基盤システムの創造を担う学生を育む』を教育目標としています。

2つのコース

本学科には社会基盤コースと社会システムデザインコースの2つがあります。前者は最近の土木の領域の広がりに対応した社会科学を含む総合的な土木工学について学びこれからの日本を担い社会を変革する中核的な技術者を育成することを目指します。後者はこれまでの土木の枠にとらわれずに自主的に自分の進路を切り開く気概のある学生を募集し、少人数のコミュニケーション能力を重視したカリキュラムを提供します。このコースは一般入試とAO入試で受験することができます。

社会基盤コース

公共施設（上下水道・道路・鉄道・公園・港湾など）である社会基盤の計画、設計、施工、評価等の各分野において、高い技術力を身につけることのできる人材の育成を考えています。

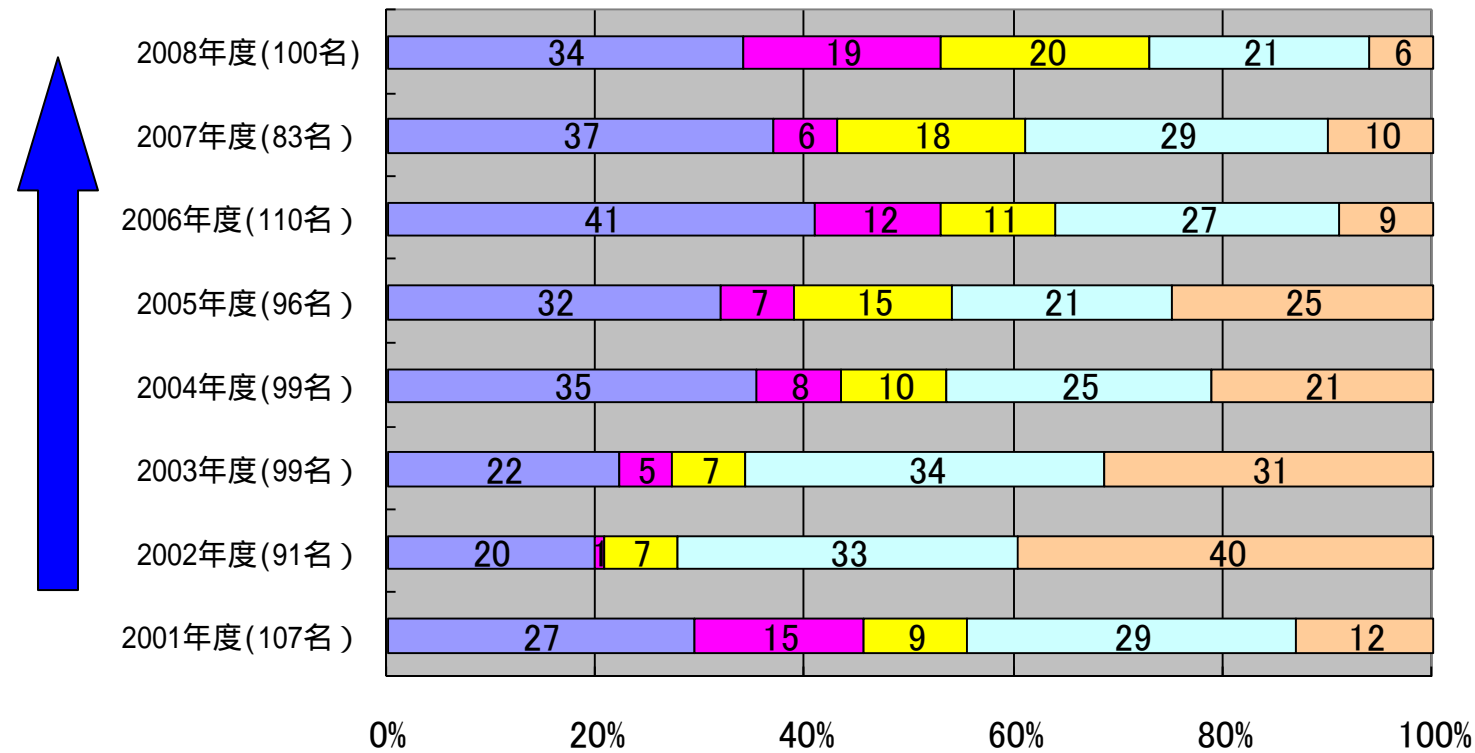
社会システムデザインコース

土木工学は、これまでの技術偏重型から本当の豊かさを目指した総合工学へと変化しつつあります。当コースでは、この変革を積極的に推進・対応できる人材の育成を考えています。

本学科の特色

本学科は、「都市再生への取り組み」を特色とし、真に市民の立場に立った都市づくりを目指し、「都市再生」を新たな教育・研究の基本理念として人材教育を行っています。本学は世界最大級の大都市東京の都心に立地しており、東京が抱えている多くの都市問題（都市防災、都市環境、住民合意、混雑緩和、構造物の劣化損傷など）を教材として取り組むことができます。これらの取り組みは、「パブリック・インボルブメント」、「卒業研究」などの科目で始められています。これらの取り組みをカリキュラム全体に浸透させることにより、「都市再生」技術を有する人材の育成を行うとともに、地域社会の向上を図っていきます。

■建設系（ゼネコ・インフラ・技術） ■コンサル ■公務員 ■大学院 ■情報・その他



卒業生の進路先の推移

資格・受験資格

中学校教諭1種免許状数学 / 高等学校教諭1種免許状数学・工業
測量士・測量士補 / 1・2級土木施工管理技士

問合せ先

芝浦工業大学土木工学科 <http://www.db.shibaura-it.ac.jp>
〒135-8548 江東区豊洲 3-7-5 Tel. 03-5859-8400(土木工学科事務室)



Department of Civil Engineering

育成する人材像

設計・施工技術者として建設現場の第一線で働く人材

リーダーシップと協調性，力学系の基礎を確実に習得し，国際的なセンスとともに高いマネジメント能力，経営管理能力を持つ人材。

都市・地域計画と環境計画の分野で自治体・コンサルタントで活躍する人材

論理的思考力とデータ解析能力，ハイレベルなコミュニケーション能力を持つ人材。幅広い知識や情報を吸収できるキャパシティを備え，技術者としての基本的な能力を持ち，住民参加，事業評価，環境影響評価，リスクマネジメントの分野で力を発揮できる人材。

新規分野への参入に意欲的な人材

土木系学生の幅広い視野・知識，マネジメント能力を生かした職種へ意欲的に参入し，境界領域から土木事業をサポートできる人材。

本学科では，社会基盤コースの学生は主に， の人材として，社会システムデザインコースの学生は主に， の人材として育成することを教育方針としています。

カリキュラム

本学科では，社会基盤コースと社会システムデザインコースの2コース制をとっており，2つのカリキュラムを用意しています。各カリキュラムとも，科目を計画系・情報系・環境系・力学系・防災系に分類して配置しており，体系的に学べると同時に，各自の進路・方向性を意識できるように作成されています。多くの科目は両コースとも受講できるようになっています。

専門科目のカリキュラム

：社会基盤コースのみ

：社会システムデザインコースのみ

系	1年次		2年次		3年次		4年次
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	通年
土木共通基礎系	土木の歴史	土木解析学1	土木解析学2				卒業研究
計画系	計画数理系		交通システム計画	交通工学 応用統計学	土木計画学	地域計画演習 国際建設マネジメント	
	デザイン系		デザイン図法	景観工学	ビジュアルデザイン		
	社会科学系				プロジェクト評価 パブリックインボリューション 都市整備 マーケティングサイエンス 社会調査演習	整備制度論 アジア学 公共経済学	
情報系		土木情報処理 測量学	地形情報工学 測量学実習1	測量学実習2	地理情報システム	地理情報システム演習	
環境系	環境の科学		ヒューマンエコロジー	環境システム工学1	環境計画演習 環境システム工学2	都市環境工学	
防災系		都市防災工学			地圏防災工学	地震防災工学 水圏防災工学	
力学系	構造系	土木構造物概論		土木の力学	構造力学1	構造力学2	
	地盤系	地圏の科学			土質力学1	土質力学2	地盤工学
	材料系			材料の工学	コンクリート構造学1 マテリアルデザイン	コンクリート構造学2	複合材料学
	水理系			流れの力学	水理学1	水理学2	水工学
	力学共通				土木実験1 土木設計演習1 設計学	土木実験2 土木設計演習2	
体験科目	導入ゼミナール			インターンシップ1 学外体験学習	土木工学ゼミナール 土木ゼミナール インターンシップ2	土木総合講義	
ゼミ・演習系		調査分析演習	ディベート演習	プレゼンテーション演習		総合演習	



研究室紹介

四年生になると下記の研究室に所属し，卒業研究を行います。卒業研究は，指導教員との議論，調査，実験，観測など能動的な活動が重要となります。卒業研究は，1年間かけて論文にまとめ，最後に発表を行います。これにより，自発的に活動する力，書く力，伝える力を養います。以下には，各研究室の2008年度の卒業論文の題目（抜粋）を載せてあります。

交通計画研究室/岩倉成志教授（交通計画/行動分析/プロジェクト評価）

- ・高質な鉄道車両デザインが需要に与える影響に関する考察 - 小田急ロマンスカーを対象に -
- ・東京圏都市鉄道の混雑率100%は実現可能か？ - WTP 制約下での挑戦 -

都市・地域マネジメント研究室/遠藤玲教授（都市・地域計画/都市整備制度論/都市の計量分析）

- ・オフィス街における都市公園の評価方法に関する研究
- ・つくばエクスプレス開業による市街地変化 - 千葉県流山市を事例として -

空間情報研究室/安納住子講師（環境衛生学/公衆衛生学）

- ・人間に快適性をもたらす街路樹の定量化に関する研究
- ・都市空間の快適性に関する定量化及び理想と既存の都市空間との比較について

ジオインフォマティクス研究室/中川雅史助教（測量/GIS/コンピュータビジョン）

2009年度新設の研究室。リアルタイムに効果的に，空間を「まるごと」デジタルコピーする研究をしています。

都市環境工学研究室/守田優教授（都市水文学/地下水水文学/都市環境工学）

- ・局所的集中豪雨を考慮した都市河川の浸水氾濫解析と治水計画に関する研究
- ・都市河川施設のヒートアイランド緩和効果に関する実証的研究

水圏環境研究室/菅和利教授（水圏環境工学/河川工学/水資源工学）

- ・斜め堰と河道の平面形状が河道変動に与える影響について
- ・流れの多様性の見かけ輸送量を用いた多摩川魚道の定量評価

コンクリート構造研究室/勝木太教授（コンクリート工学/維持管理工学）

- ・環境要因が層間剥離を有するアスファルト舗装表面の温度履歴に与える影響
- ・ひび割れと鉄筋界面からの中性化進行に及ぼす乾湿繰返しの影響

建設複合材料研究室/魚本健人教授（建設複合材料学/維持管理工学/非破壊検査）

- ・既設 RC 橋梁橋脚における復元設計と安全性評価に関する基礎研究
- ・自己生成物を使用したひび割れを有するコンクリートの新たな補修方法

マテリアルデザイン研究室/伊代田岳史助教（セメント化学/コンクリート工学/材料設計学）

2009年度新設の研究室。安全・快適な社会生活を送るために不可欠なコンクリートについて研究していきます。

鋼構造研究室/穴見健吾准教授（鋼構造/疲労）

- ・架設後25年を経過した水道斜張橋ケーブルの劣化度評価
- ・面外ガセット継手部におけるグラインダー処理形状と疲労強度向上効果の関係

地盤工学研究室/岡本敏郎教授（土質力学/地盤力学/岩盤力学/フィルダム工学）

- ・東日本における高速道路を横断する活断層の分布と対策に関する一考察
- ・新潟県中越沖地震における柏崎刈羽原子力発電所基礎地盤の二次元応答解析

地震防災研究室/紺野克昭教授（地震工学/地震防災工学）

- ・江東区周辺の地震観測点における表層30mの平均S波速度と地震増幅倍率の関係
- ・小学校児童とその家庭における地震防災意識向上の為に効果的な授業の提案と実証例

